

調査要項

1 調査趣旨

この調査は、商工会地域の企業活動状況を把握するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託を受け全国商工会連合会が実施するもので、本会はこれら貴重な景況情報を「山口県商工会地域中小企業景況調査報告書」としてまとめ、商工会の経営改善普及事業の効果的実施に資することを目的とする。（年4回発行）

2 調査対象地区及び対象企業等

- (1) 全国商工会連合会により指定された582地区の商工会のうち、山口県は10商工会150企業を調査対象として指定する。
- (2) 調査対象区域は地域人口等に配慮し、県東部・中部・西部・北部地域の商工会とし、製造業及び建設業は従業員20名以下、小売業及びサービス業は従業員5名以下の企業規模を対象とする。
- (3) 調査対象企業は、1商工会地域につき15企業とし、業種は製造業、建設業、小売業及びサービス業（サービス業は飲食店、宿泊業、洗濯業、理美容その他のサービス）の4種類とする。

3 調査対象期間及び調査時点等

- ・調査対象期間及び調査内容は2019年7－9月期における前期及び前年同期に対する景況感（現況）と来期（2019年10－11月期）における景況見通しを調査した。
- ・調査は2019年8月23日から9月1日の期間に実施した。
- ・調査方法は商工会経営指導員による聴き取りでおこなった。

4 回答企業数内訳

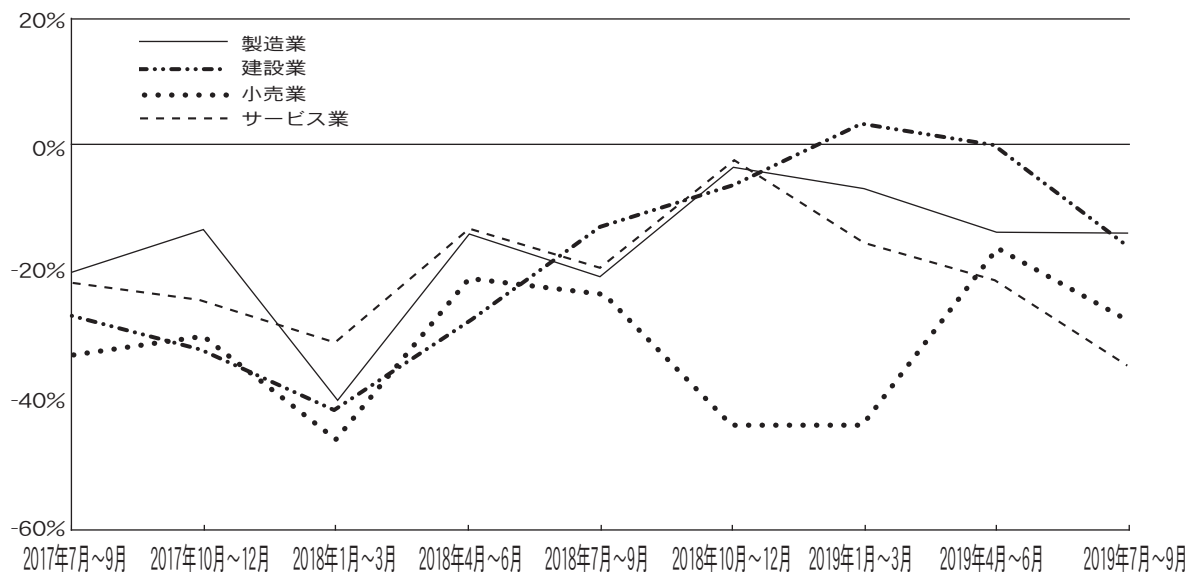
業種	対象企業	構成比	回答企業	回答
製造業	29	19.3%	29	100.0%
建設業	32	21.4%	32	100.0%
小売業	43	28.7%	43	100.0%
サービス業	46	30.6%	46	100.0%
合計	150	100.0%	150	—

5 業況判断指標

景況を示す業況判断指標は、Diffusion Index(DI)を用いた。DIは、前年同期（基準）に対する変化の方向については、上昇(好転)とする回答割合から低下(悪化)とする回答割合を差引いた数値で、「変化の趨勢を示す指標」として用いられている。※DIがプラスの場合は「強気・楽観」傾向つまり上昇機運にあるとされ、マイナスの場合は「弱気・悲観」傾向つまり低下機運にあるとされている。また、プラス・マイナスが同数(DIゼロ)の場合は変化がないことを示す。

1 山口県 全産業

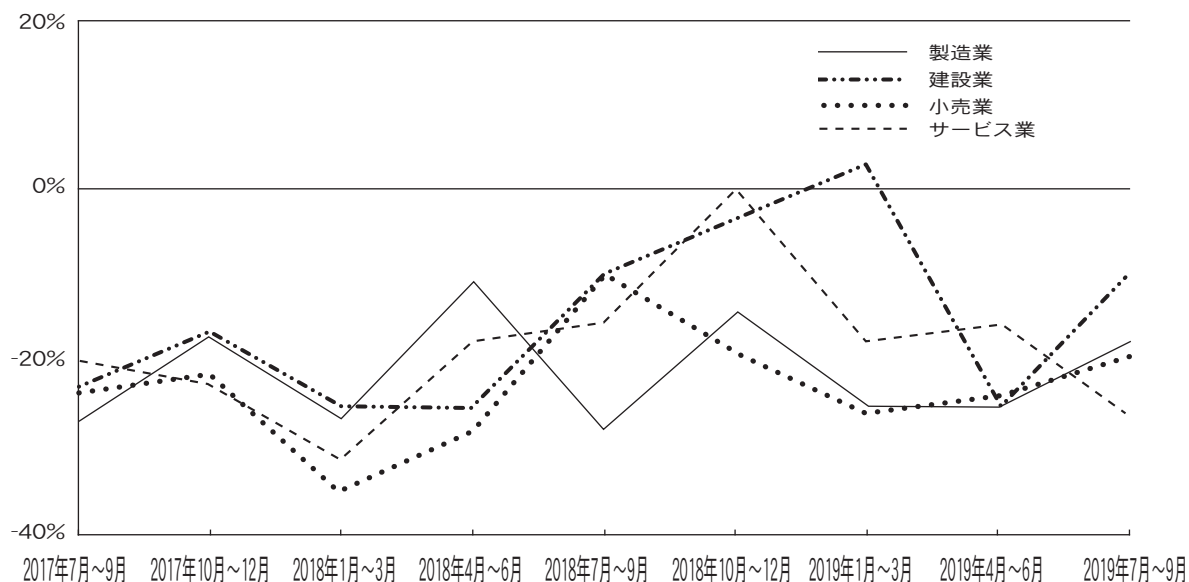
1 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



D I 値 製造業－13.8(前期は－13.8、前年同期は－20.7)、建設業 16.1(前期は 0.0、前年同期は－12.9)、小売業－27.9(前期は－16.2、前年同期は－23.2)、サービス業－34.7(前期は－21.7、前年同期は－19.6)

業況D I 値 製造業－13.8(前期は－27.6、前年同期は－17.3)、建設業－9.4(前期は－15.6、前年同期は－9.6)、小売業－23.2(前期は－21.4、前年同期は－13.9)、サービス業－23.9(前期は－13.0、前年同期は－19.6)

2 採算の推移－前年同期比－

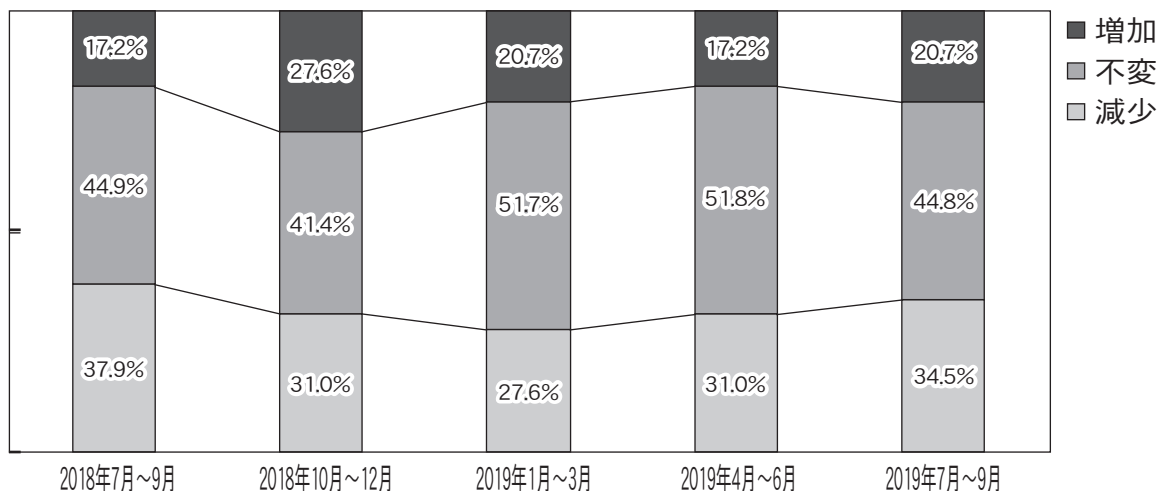


D I 値 製造業－17.3(前期は－25.0、前年同期は－27.6)、建設業－9.4(前期は－25.0、前年同期は－9.6)、小売業－19.1(前期は－23.9、前年同期は－9.3)、サービス業－26.1(前期は－15.2、前年同期は－15.3)

資金繰りD I 値 製造業－13.8(前期は－17.3、前年同期は－10.7)、建設業－12.5(前期は－18.8、前年同期は－6.3)、小売業－11.9(前期は－11.9、前年同期は－9.3)、サービス業－24.0(前期は－10.9、前年同期は－13.3)

2 山口県 製造業

1 売上額の状況－前年同期比－

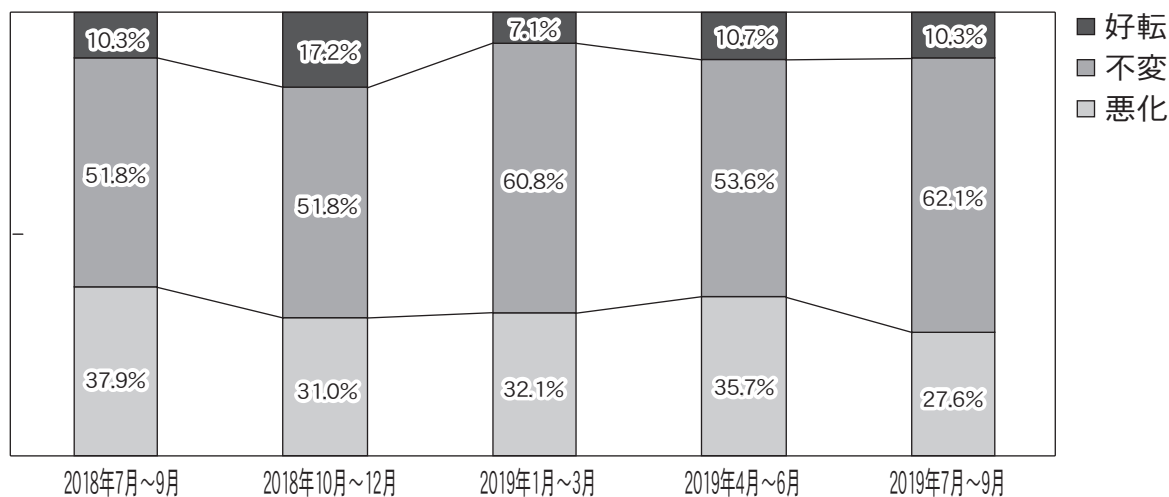


前期と比較 「増加」20.7%（前期は 22.2%、前年同期は 17.9%）、「不変」48.3%（前期は 48.2%、前年同期は 42.8%）、「減少」31.0%（前期は 29.6%、前年同期は 39.3%）

来期見通し 「好転」10.3%（前期は 13.8%、前年同期は 10.3%）、「不変」62.1%（前期は 65.5%、前年同期は 65.6%）、「悪化」27.6%（前期は 20.7%、前年同期は 24.1%）

その他のD I 値 原材料在庫数量－10.7（前期は－14.3、前年同期は－13.8）、製品在庫数量－10.7（前期は－10.7、前年同期は－17.8）、売上単価 10.8（前期は 0.0、前年同期は－10.4）、売上数量－14.2（前期は－13.8、前年同期は－24.1）

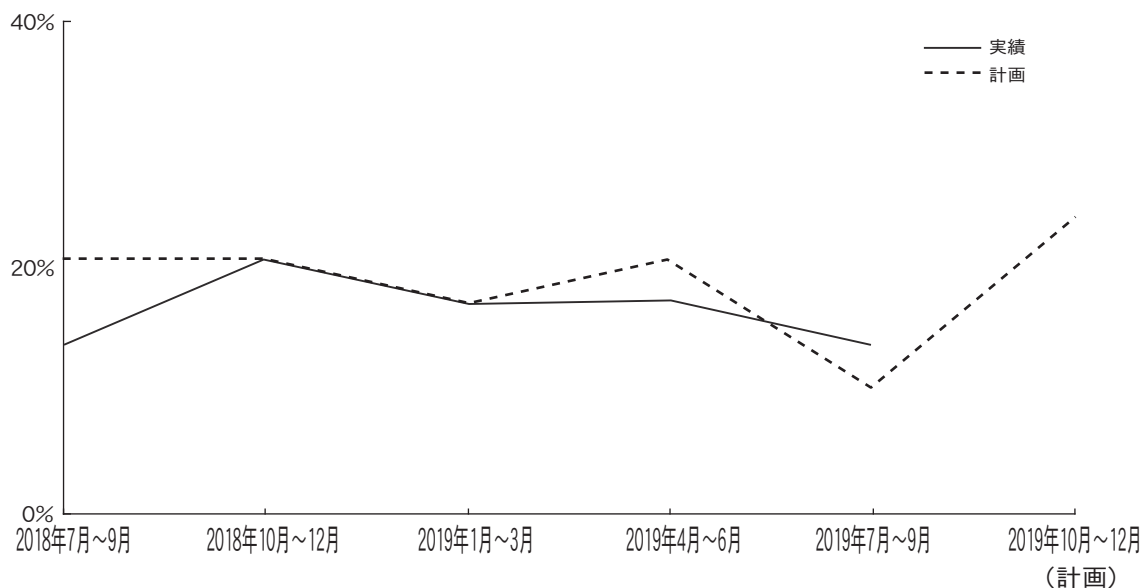
2 採算の状況－前年同期比－



来期見通し 「好転」10.3%（前期は 10.3%、前年同期は 10.3%）、「不変」62.1%（前期は 62.1%、前年同期は 62.1%）、「悪化」27.6%（前期は 27.6%、前年同期は 27.6%）

資金繰り 前期と比較で、「好転」6.9%（前期は 7.1%、前年同期は 3.6%）、「不変」82.8%（前期は 82.2%、前年同期は 82.1%）、「悪化」10.3%（前期は 10.7%、前年同期は 14.3%）
来期見通しは、「好転」3.4%（前期は 7.1%、前年同期は 3.4%）、「不変」79.4%（前期は 75.0%、前年同期は 82.8%）、「悪化」17.2%（前期は 17.9%、前年同期は 13.8%）

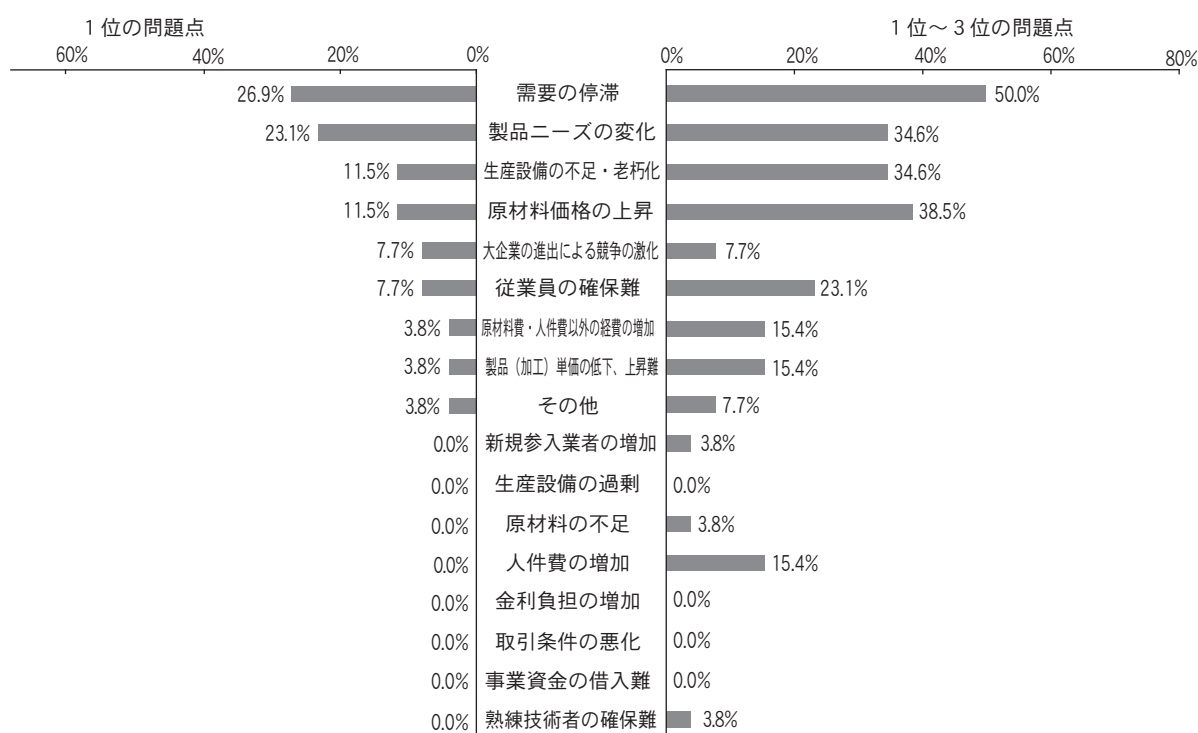
3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業4社(工場建物1、生産設備2、O A機器1)、実施しなかった企業25社。来期に設備投資を予定している企業7社(工場建物1、生産設備2、付帯施設1、O A機器2、その他1)、予定していない企業22社。

設備操業率D I値は、-17.9(前期は-17.2、前年同期は-25.0)

4 経営上の問題点の状況 (1位と1~3位)

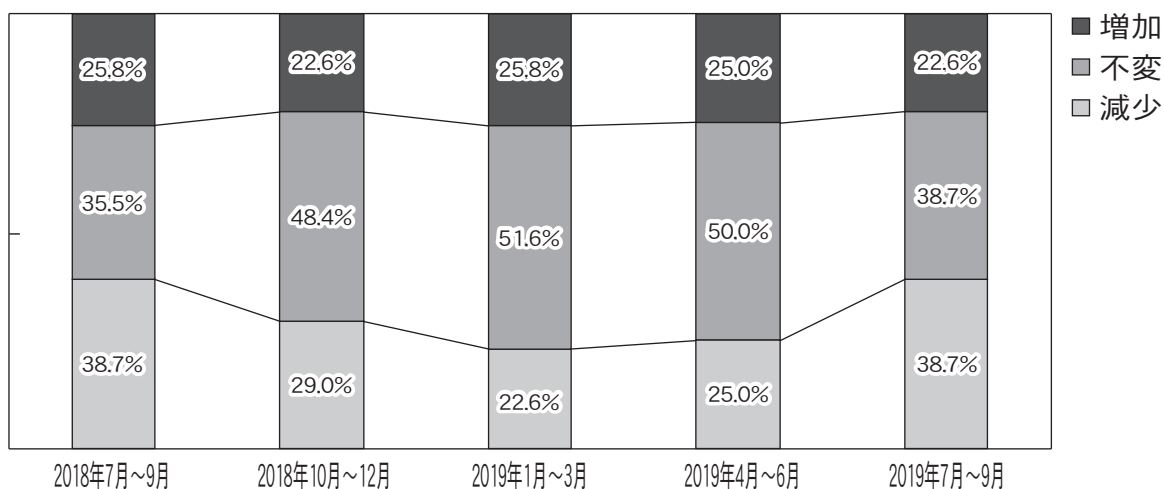


「需要の停滞」・「製品(加工)単価の低下、上昇難」の割合が減少し、「製品ニーズの変化」・「原材料価格の上昇」が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」0.0%(前期0.0%、前年同期は3.8%)、「不変」100.0%(前期は100.0%、前年同期は96.2%)、「悪化」0.0%(前期は0.0%、前年同期は0.0%)

3 山口県 建設業

1 完成工事額の状況－前年同期比－

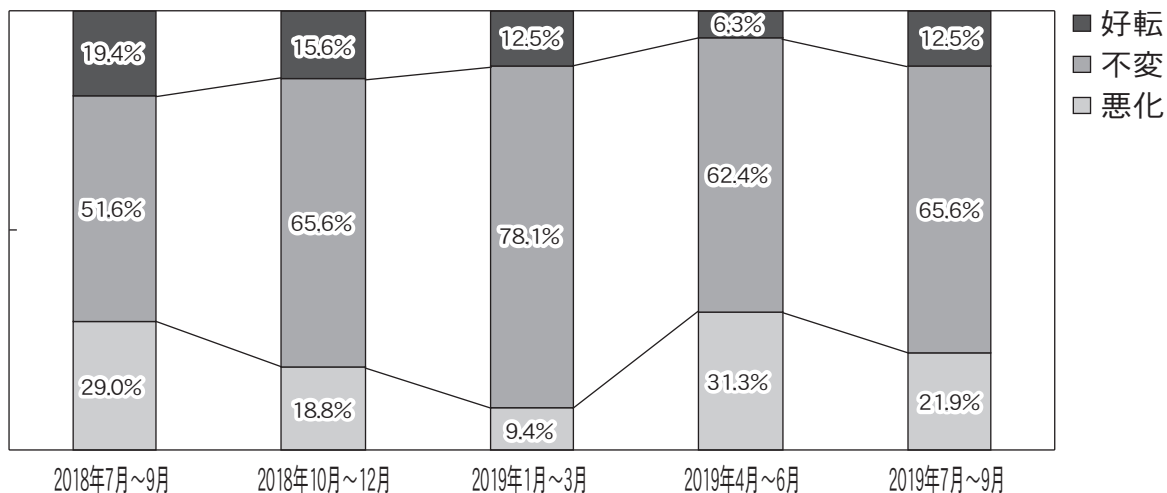


前期と比較 「増加」13.3%（前期は 22.6%、前年同期は 27.6%）、「不変」60.0%（前期は 61.3%、前年同期は 44.8%）、「減少」26.7%（前期は 16.1%、前年同期は 27.6%）

来期見通し 「好転」15.6%（前期は 22.6%、前年同期は 9.7%）、「不変」56.3%（前期は 54.8%、前年同期は 51.6%）、「悪化」28.1%（前期は 22.6%、前年同期は 38.7%）

その他のD I 値 新規契約工事額－6.2（前期は－24.9、前年同期は－9.7）、材料仕入単価 23.3（前期は 34.4、前年同期は 28.2）

2 採算の状況－前年同期比－

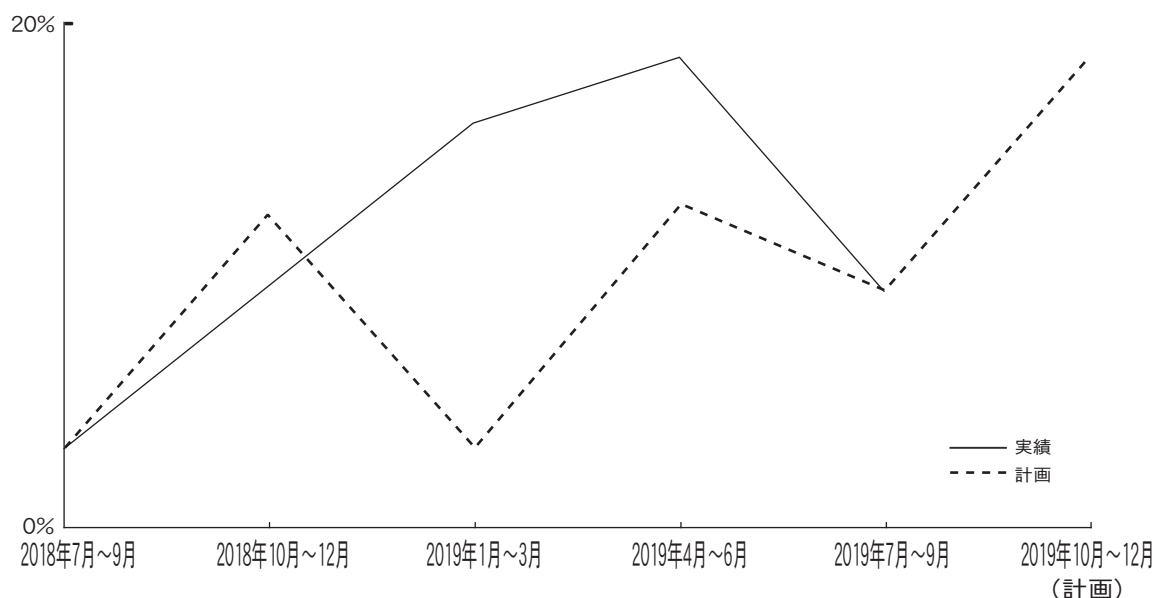


来期見通し 「好転」3.1%（前期は 6.3%、前年同期は 3.2%）、「不変」78.1%（前期は 81.2%、前年同期は 67.8%）、「悪化」18.8%（前期は 12.5%、前年同期は 29.0%）

資金繰り 前期と比較で、「好転」6.5%（前期は 3.1%、前年同期は 19.4%）、「不変」77.4%（前期は 78.1%、前年同期は 70.9%）、「悪化」16.1%（前期は 18.8%、前年同期は 9.7%）

来期見通しは、「好転」6.3%（前期は 6.7%、前年同期は 10.0%）、「不変」71.8%（前期は 80.0%、前年同期は 73.3%）、「悪化」21.9%（前期は 13.3%、前年同期は 16.7%）

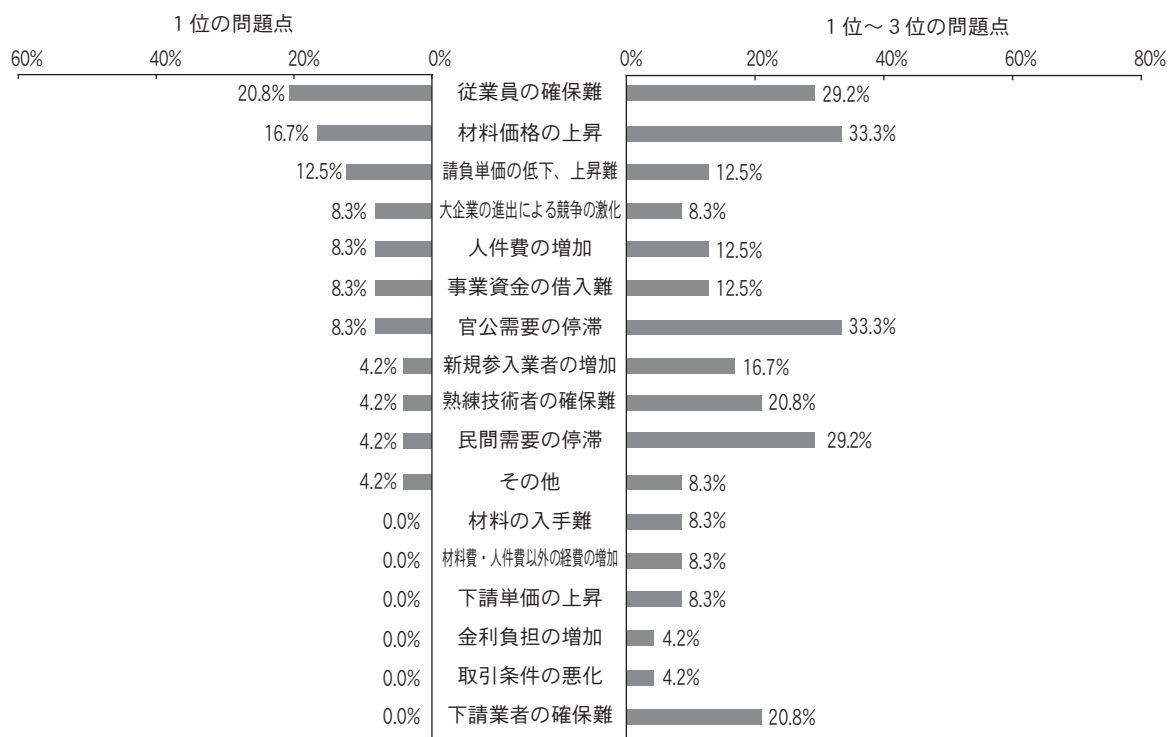
3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業3社(車両・運搬具2、その他1)、実施しなかった企業29社。来期に設備投資を予定している企業6社(建設機械1、土地1、建物1、OA機器1、福利厚生施設1、その他1)、予定していない企業26社。

引合いD I 値 -10.3(前期は-13.8、前年同期は-13.8)

4 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)

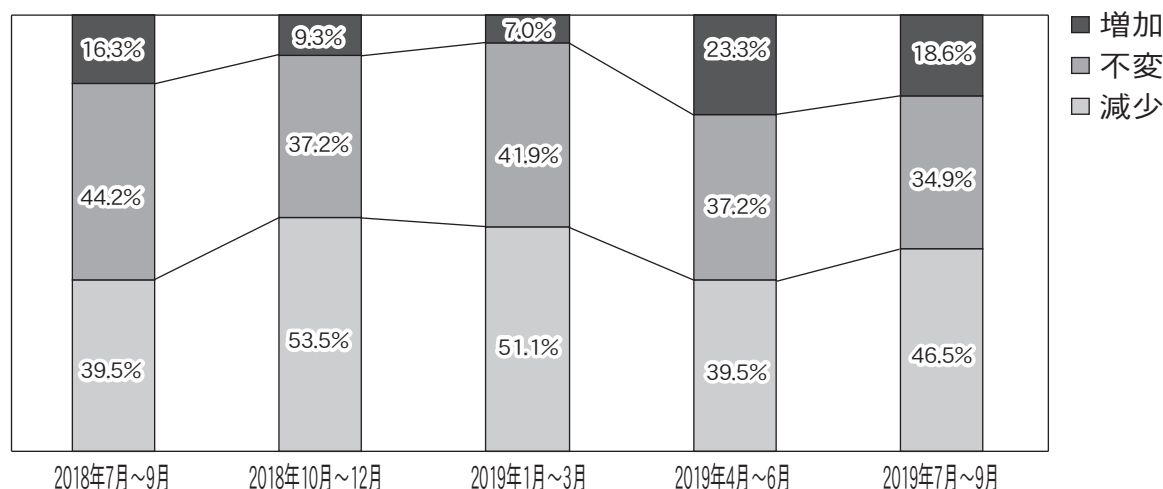


「官公需要の停滞」・「大企業の進出による競争の激化」の割合が減少し、「従業員の確保難」・「熟練技術者の確保難」が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」0.0%(前期は10.7%、前年同期は7.4%)、「不変」92.3%(前期は85.7%、前年同期は85.2%)、「悪化」7.7%(前期は3.6%、前年同期は7.4%)

4 山口県 小売業

1 売上額の状況－前年同期比－

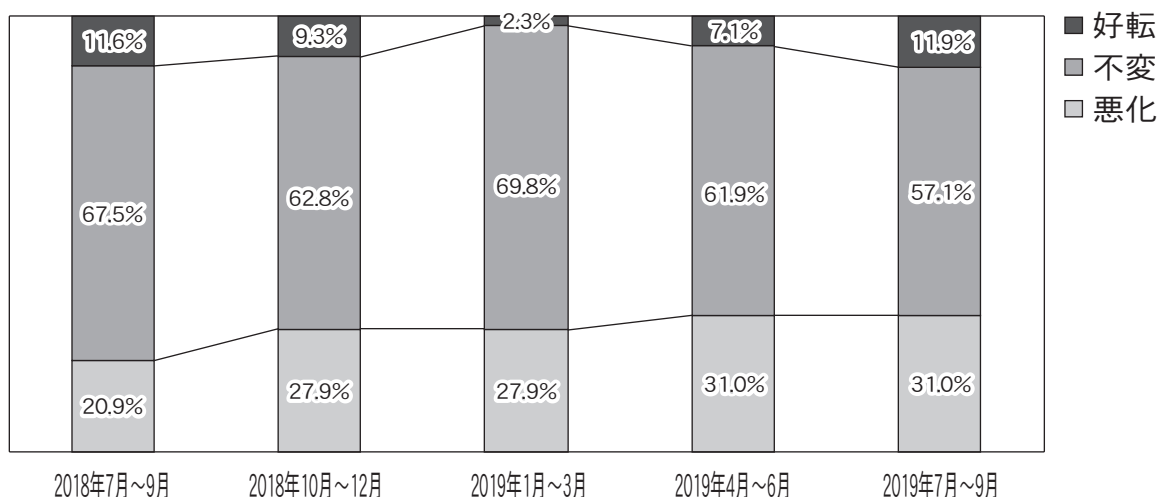


前期と比較 「増加」20.9% (前期は 37.2%、前年同期は 35.7%)、「不変」30.2% (前期は 25.6%、前年同期 45.3%)、「減少」48.9% (前期は 37.2%、前年同期は 19.0%)

来期見通し 「好転」20.9% (前期は 7.0%、前年同期は 4.7%)、「不変」37.2% (前期は 44.2%、前年同期は 53.4%)、「悪化」41.9% (前期は 48.8%、前年同期は 41.9%)

その他のD I 値 客単価－18.6 (前期は－9.3、前年同期は－7.0)、客数－34.9 (前期は－44.1、前年同期－33.4)、商品仕入単価 0.0 (前期は 27.9、前年同期は 14.0)

2 採算の状況－前年同期比－

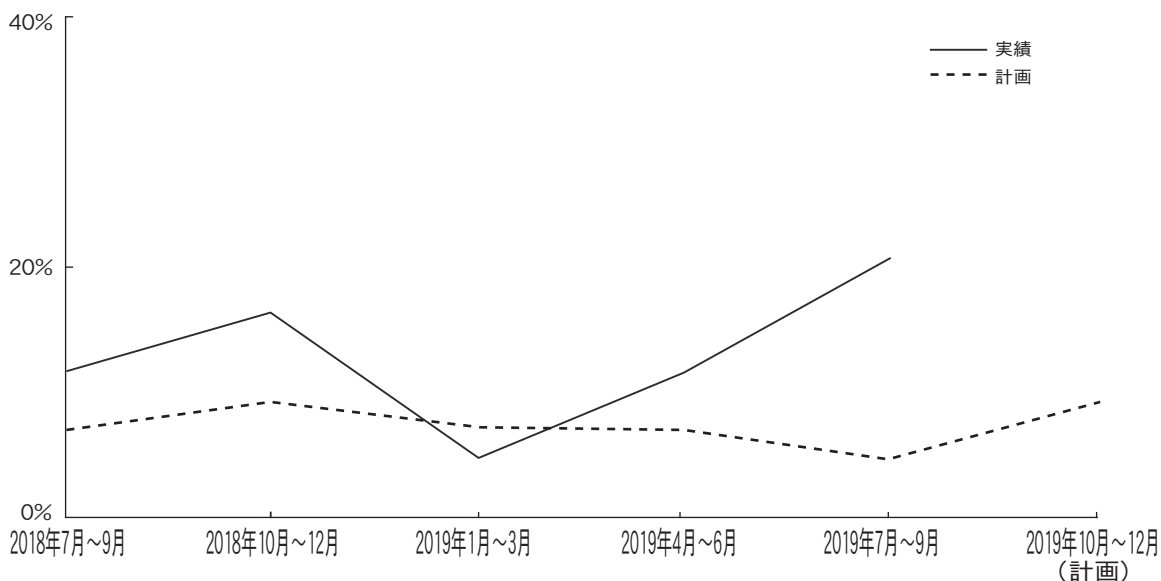


来期見通し 「好転」2.4% (前期は 4.8%、前年同期は 0.0%)、「不変」61.9% (前期は 64.2%、前年同期は 67.4%)、「悪化」35.7% (前期は 31.0%、前年同期は 32.6%)

資金繰り 前期と比較で、「好転」4.9% (前期は 2.4%、前年同期は 7.1%)、「不変」70.7% (前期は 80.9%、前年同期は 83.4%)、「悪化」24.4% (前期は 16.7%、前年同期は 9.5%)

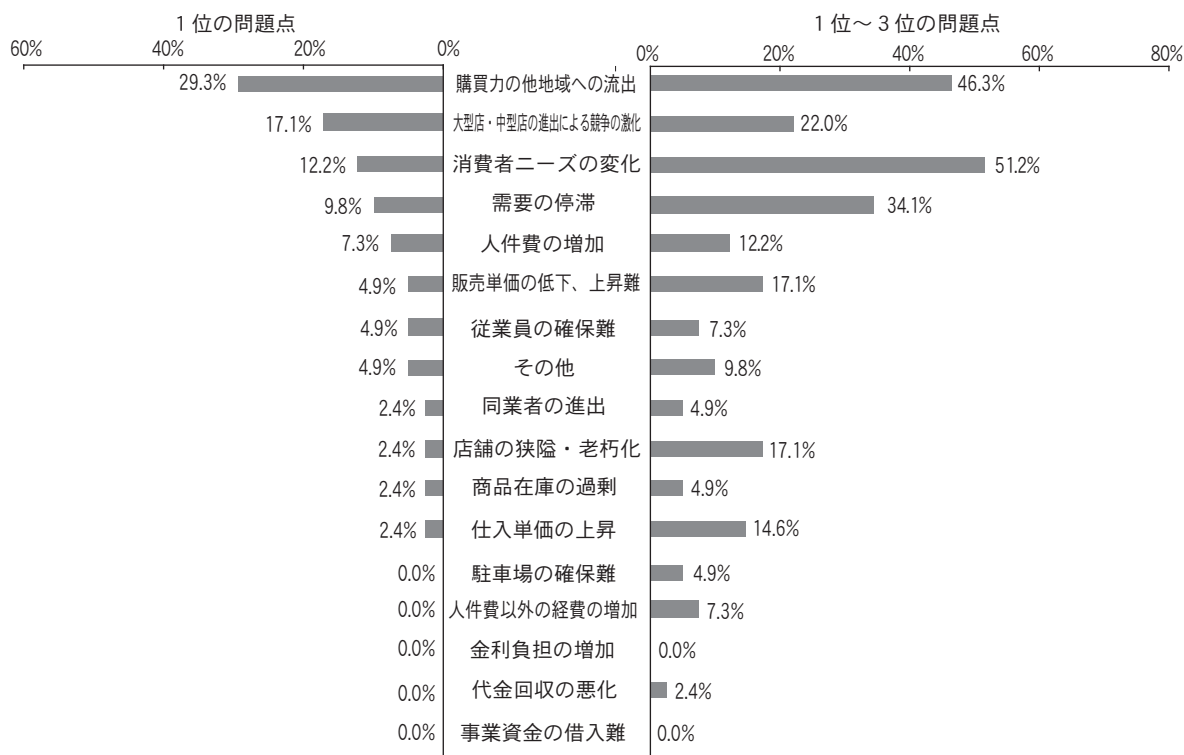
来期見通しは、「好転」0.0% (前期は 2.3%、前年同期は 0.0%)、「不変」76.2% (前期は 74.4%、前年同期は 86.0%)、「悪化」23.8% (前期は 23.3%、前年同期は 14.0%)

3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業 9 社 (販売設備 2、車両・運搬具 5、O A 機器 1、その他 1)、実施しなかった企業 34 社。来期に設備投資を予定している企業 4 社 (販売設備 1、車両・運搬具 2、その他 1)、予定していない企業 39 社。

4 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)

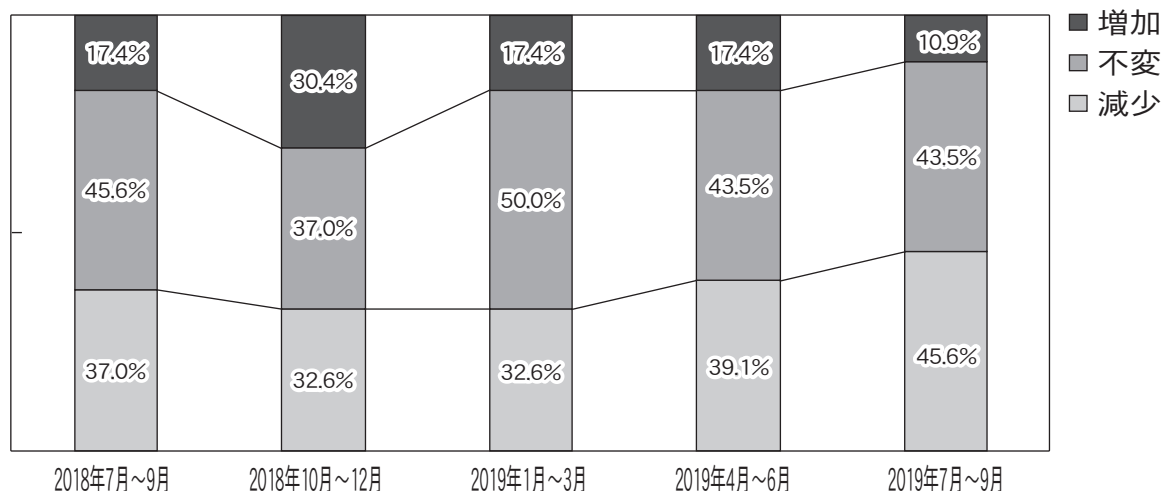


「仕入単価の上昇」・「需要の停滞」の割合が減少し、「購買力の他地域への流出」・「人件費の増加」が上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」9.7% (前期は 3.3%、前年同期は 0.0%)、「不変」87.1% (前期は 90.0%、前年同期は 97.0%)、「悪化」3.2% (前期は 6.7%、前年同期は 3.0%)

5 山口県 サービス業

1 売上額の状況－前年同期比－

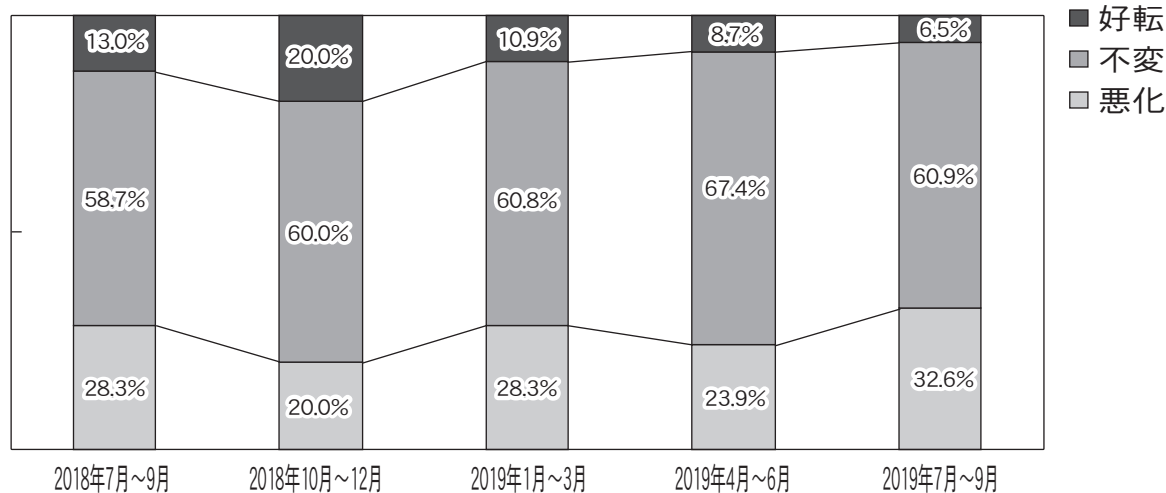


前期と比較 「増加」20.0%（前期は 34.8%、前年同期は 30.4%）、「不変」42.2%（前期は 43.5%、前年同期は 34.8%）、「減少」37.8%（前期は 21.7%、前年同期は 34.8%）

来期見通し 「好転」13.0%（前期は 15.2%、前年同期は 8.7%）、「不変」63.1%（前期は 56.5%、前年同期は 67.4%）、「悪化」23.9%（前期は 28.3%、前年同期は 23.9%）

その他のD I 値 客単価－13.1（前期は－4.4、前年同期は－4.3）、利用客数－41.2（前期は－23.9、前年同期は－17.4）

2 採算の状況－前年同期比－

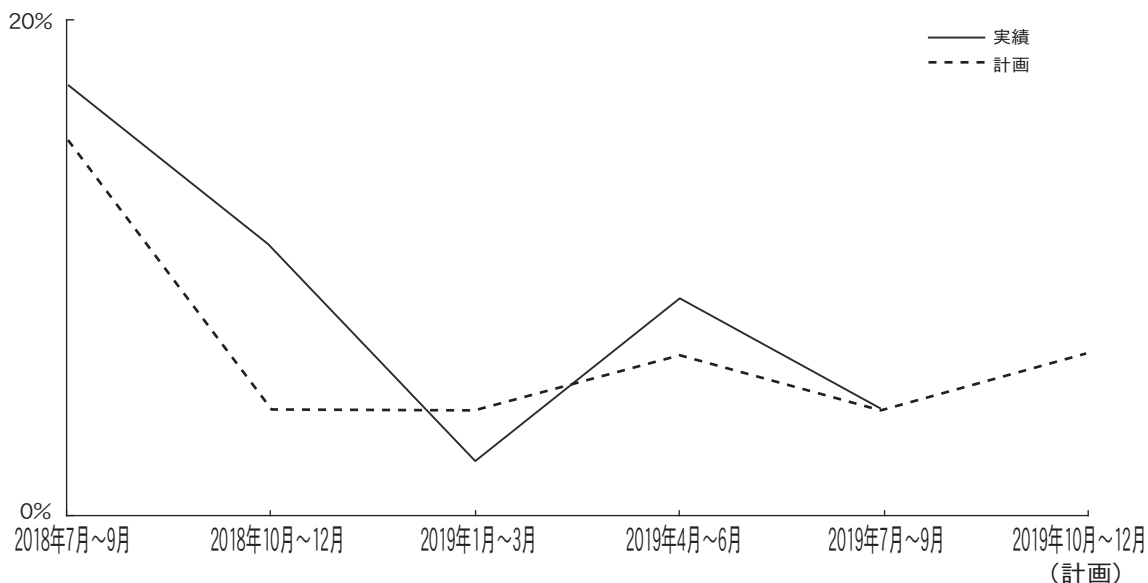


来期見通し 「好転」11.1%（前期は 8.7%、前年同期は 6.5%）、「不変」66.7%（前期は 69.6%、前年同期は 69.6%）、「悪化」22.2%（前期は 21.7%、前年同期は 23.9%）

資金繰り 前期と比較で、「好転」0.0%（前期は 8.7%、前年同期は 6.7%）、「不変」77.8%（前期は 76.1%、前年同期は 68.9%）、「悪化」22.2%（前期は 15.2%、前年同期は 24.4%）

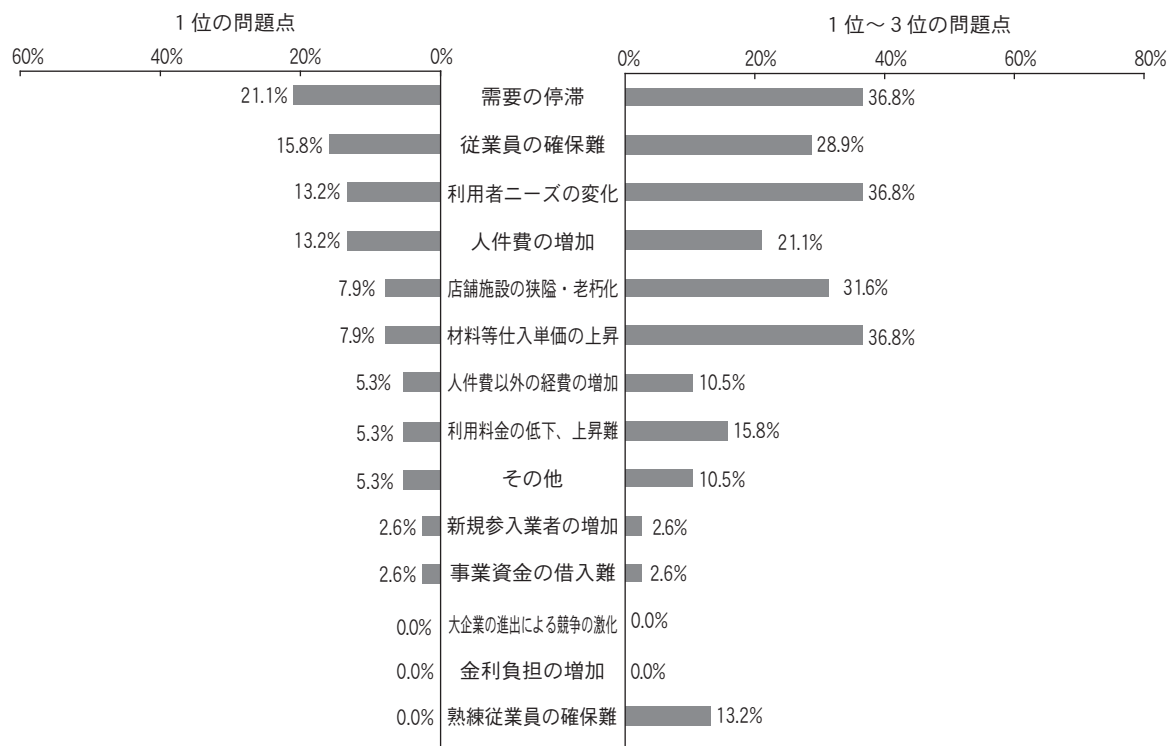
来期見通しは、「好転」8.7%（前期は 6.5%、前年同期は 4.3%）、「不変」71.7%（前期は 76.1%、前年同期は 80.5%）、「悪化」19.6%（前期は 17.4%、前年同期は 15.2%）

3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業2社(建物1、付帯施設1)、実施しなかった企業44社。来期に設備投資を予定している企業3社(建物1、付帯施設2)、予定していない企業43社。

4 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)

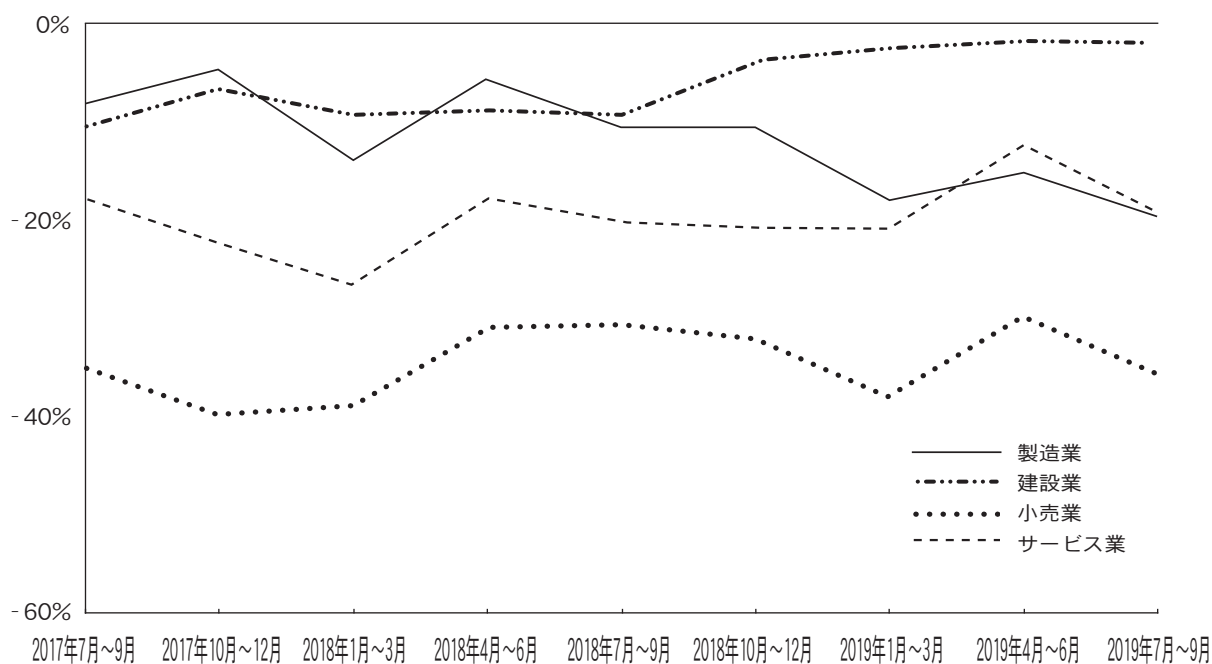


「材料等仕入単価の上昇」・「店舗施設の狭隘・老朽化」の割合が減少し、「人件費の増加」・「需要の停滞」上昇した。

借入金利 前期と比較で、「好転」3.2% (前期は 0.0%、前年同期は 3.1%)、「不変」90.3% (前期は 93.7%、前年同期は 93.8%)、「悪化」6.5% (前期は 6.3%、前年同期は 3.1%)

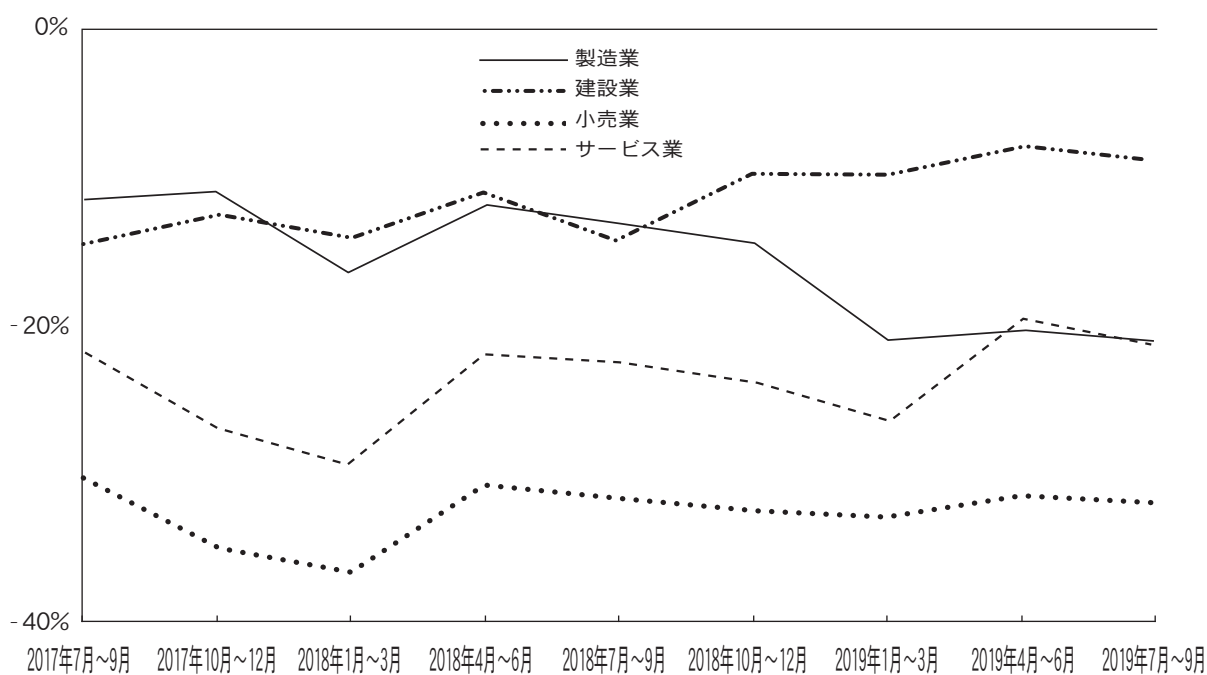
6 全国 全産業

1 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



DI値 製造業－19.8(前期は－15.3、前年同期は－10.8)、建設業－2.3(前期は－2.2、前年同期は－9.7)、小売業－35.4(前期は－29.8、前年同期は－30.9)、サービス業－19.6(前期は－12.8、前年同期は－20.5)

2 採算の推移－前年同期比－



DI値 製造業－21.2(前期は－20.4、前年同期は－13.3)、建設業－9.1(前期は－8.2、前年同期は－14.3)、小売業－32.0(前期は－31.6、前年同期は－31.7)、サービス業－21.4(前期は－19.8、前年同期は－22.6)

7 山口県 調査対象企業の声

■製造業■

- 新しい取り組みはしているが、中々効果が現われるのが時間を要する。競合している同業者の廃業があり、営業を強化しているが、取引単位が小さくなって行くので、件数が増え、売上額に反映しにくい。
- 消費税アップ前の原料、その他の値上げと、栄養成分表示の義務化、又、ハサップの取組み、と次々と小規模事業者にとっては、厳しい環境が経営を圧迫している現状。
- 日立関連の仕事量が減少しており、前年比約90%となっている。従業員を確保する為、正社員を増やしたが、売上の減少により人件費割合が高くなり粗利率が前年比60%まで落ち込んでいる。
- 人口減の美祢市・若い人達・働く場所減少・老人美祢市企業誘致の対策に、もう少し力を入れてみては？若者が沢山いると、もう少し活性化するのに～。
- 重労働の為、従業員の確保が難しい。独自の方法で、定年退職者を週3日、ローテーションで組んでいるが、暑い時は無理が出来ない為、仕事の受注量も決まってくる。
- 売れない時季になったが、連休が多くて更に売れ行きが悪くなった。多少単価の高いのが売れて助かっている程度。
- 梅雨時はコンクリートは売れない。

■建設業■

- この8月まで一年間、下請けの額の低い仕事ばかりしてきたので売上げが落ちていましたが、来期から大きい仕事も入ってきているので、少しでも会社運営が楽になれば・・・と思っています。
- 受注額の低下、材料単価の上昇、人材不足等の諸事情により採算性の好転がなか

なか望めない状況にある。

- 米中の貿易摩擦による影響が先行きの不安を増大させている感があり、人手不足・人材の確保は見通しがつかない状況である。
- セメント等の材料の単価が上昇してきており、収益に影響が出ている。
- 工事の受注数及び依頼は増加しているが、人手不足により、依頼を全て消化出来ない。求人を出しても応募者が無く、賃金を上げたくても上げれない状況が続いている。
- 公共工事（県市）の発注件数の低下、又民間工事量の減少先行がよめない状況。
- 受注工事が減っています。季節的な事もありますが、自社の場合人手不足により完成までに時間を要し、複数の仕事をとれない事も原因です。下請もお願いしたい時のタイミングも難しいので、不足時の対策を早く解決できるよう声かけをしていきたいです。
- 単価を上昇させることが必要（努力目標）
- 下請の仕事をしていきますので、元請さんの受注状況により業況が変わります。
- 先々不透明さが出ています。
- 県工事の延伸により、完成工事金の入金が遅くなる。金額の多い工事になると、資金繰りが困難になる。
- 前期からの業況の変化は特に無し。

■小売業■

- 売上は上昇しているものの利幅がとれないため、安定させなければならない。
- 10月から消費税が変わるので売上が低下しないかと心配している。
- エアコン・冷蔵庫等季節ものの売れ行きが良かった。
- 政府の2000万円預金から全然客がこない。開店休業状態です。このままいくと、いつ廃業しても、おかしくない状態です。
- 消費税増税にともない、購買力低下や同業者の競争が激化する事が考えられる。

- 自分の地区は、人口が少なく、買物は近くのスーパーへお客さんが行く人が多いため、売上減少するばかりです。
- 消費税10%が決定の中、お客様の購買意欲をどう上げるかどうかが重要。サービスの向上など出来ることをやりとげることが重要。
- 現状ここでは良いが、10月消費増税の影響が多すぎと予想します。
- デジタル版の普及により新聞定期購読は減少する。
- 少子高齢化・人口減少で売上減が心配される。

■サービス業■

- 天候に左右されやすい観光産業なので、明確な来る理由が必要になる。
- どんなにつらくても自分にきびしく。地道に手をぬかず。
- 人口減少。高齢化。交通の便が悪い。
- 連休のまん中に台風が接近したので、こたえました。災害予防も大切ですが、大げさでの外れな警報も多く、経済に与える影響も考慮してほしいと思います。
- すでに色々な生活必需品の値上げが続いているので、消費者のマインドは低く今期は落ちこむとみている。10月の消費税率引き上げはさらに需要の停滞を生むことだろう。
- 昨年同期豪雨災害等の影響で客足が遠のいた時期もありましたが、今年はそれにも増して異常な暑さや長びく降雨等天候に大きく左右され売上が急降下したと思われまます。また顧客ニーズの変化がつかみきれないのが現状。
- 従業員の不足のため、開店日が限られ営業日が少なくなった。
- 従業員の最低賃金が毎年上昇して経常利益が赤字になり借入金返済が困難になる。
- ヒジの手術をしたばかりで、仕事に出れないこともあるのもうしばらく思いどおりに仕事ができないかもしれない。